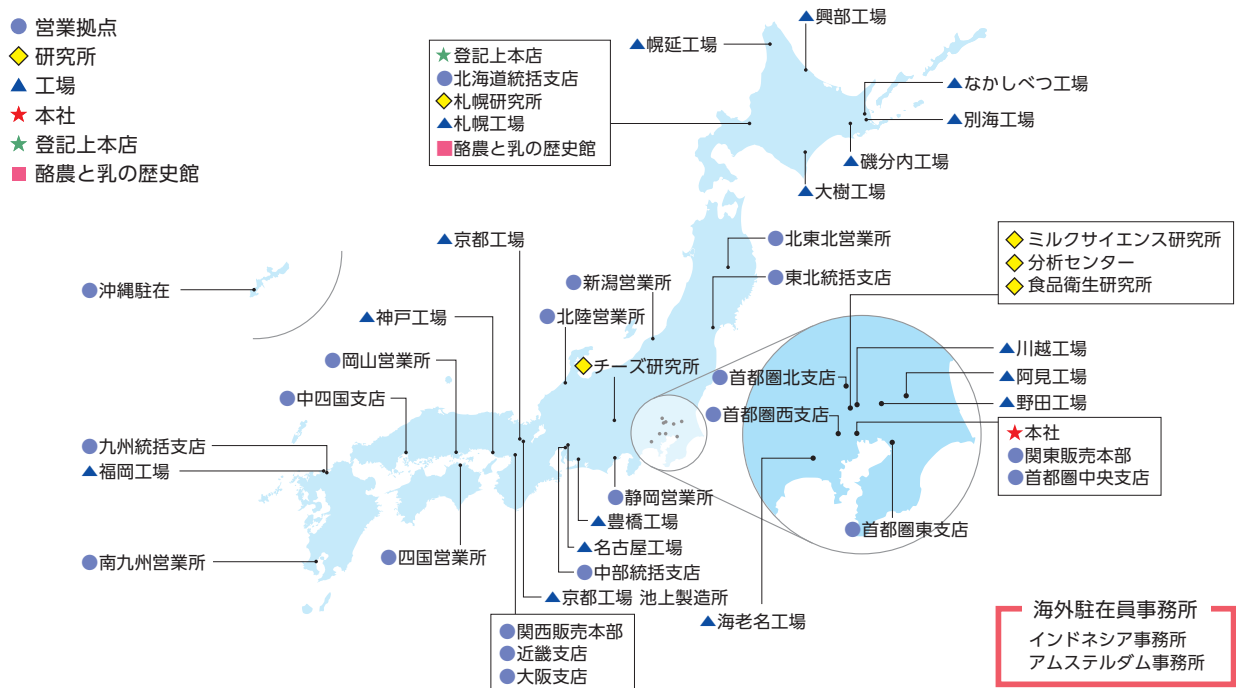


雪印メグミルク 会社概要

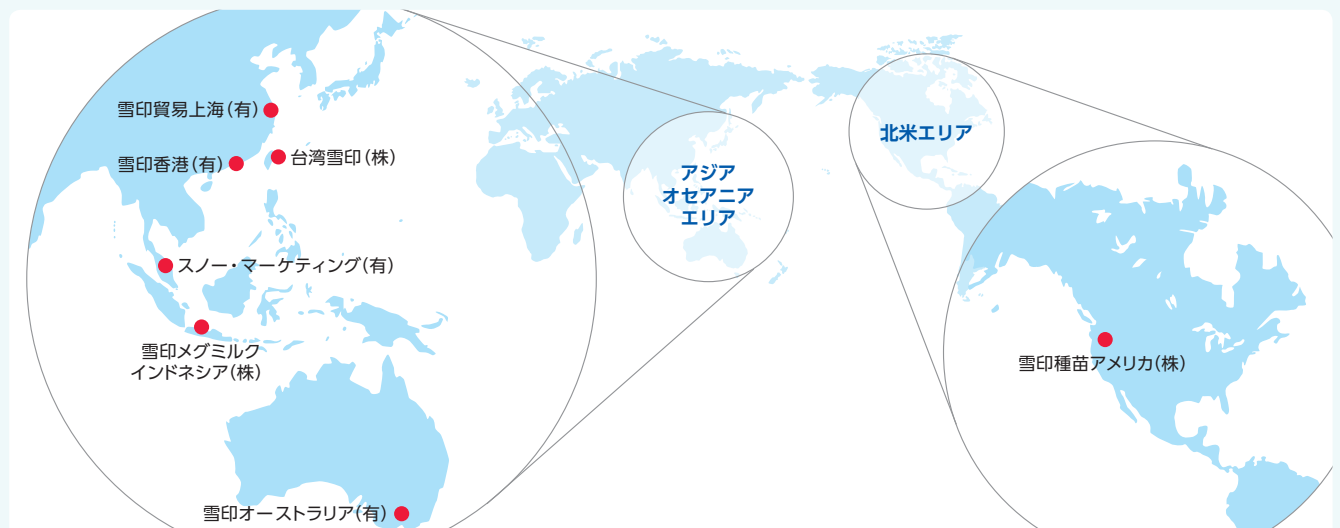
商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.	設立年月日	2009年10月1日
事業内容	牛乳、乳製品および食品の製造・販売等	代表取締役社長	西尾 啓治
本店所在地	(登記上本店) 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号 (本社) 東京都新宿区本塩町13番地	資本金	200億円
		決算期	3月31日



雪印メグミルク 事業所一覧



雪印メグミルクグループ 海外拠点



工場・歴史館の見学をご希望の場合は、お手数ですが、あらかじめ各工場・歴史館にお電話でご予約願います。
なお、工場によっては見学を休止している場合があります。詳しくはお尋ね下さい。

日本の酪農・乳業
に関わる史料**雪印メグミルク(株)酪農と乳の歴史館**北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
TEL. 011-704-2329牛乳類・飲料・
ヨーグルト**雪印メグミルク(株)札幌工場**北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
TEL. 011-704-2329

(受付は雪印メグミルク(株)酪農と乳の歴史館で行っています。)

ナチュラル
チーズ**雪印メグミルク(株)なかしべつ工場**北海道標津郡中標津町丸山2丁目9番地
TEL. 0153-72-3281ナチュラル
チーズ**雪印メグミルク(株)大樹工場**北海道広尾郡大樹町緑町35
TEL. 01558-6-2121牛乳類・デザート・
ヨーグルト**みちのくミルク(株)本社工場**宮城県大崎市岩出山下野目字八幡前60-1
TEL. 0229-72-2011プロセスチーズ・
マーガリン**雪印メグミルク(株)阿見工場**茨城県稲敷郡阿見町星の里22番地
TEL. 029-829-5236牛乳類・飲料・
ヨーグルト**雪印メグミルク(株)野田工場**千葉県野田市上三ヶ尾字平井256-1
TEL. 04-7122-2246牛乳類・飲料・
ヨーグルト**雪印メグミルク(株)海老名工場**神奈川県海老名市中新田5丁目26番1号
TEL. 046-240-6300デザート・
クリーム**雪印メグミルク(株)豊橋工場**愛知県豊川市伊奈町南山新田350番地79
TEL. 0533-78-3711牛乳類・
ヨーグルト**雪印メグミルク(株)京都工場**京都府南丹市八木町美里紫野1番地
TEL. 0771-43-2150牛乳類・飲料・
ヨーグルト**雪印メグミルク(株)京都工場 池上製造所**京都府南丹市八木町池上古里1番1
TEL. 0771-42-6871牛乳類・
飲料**雪印メグミルク(株)神戸工場**兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和824-1
TEL. 078-912-2121

海老名工場

2017年3月31日現在

小泉 恒男	元標茶町農業協同組合 組合長
黒沢 寛寿	元全国酪農青年女性会議 委員長
松尾 要治	元全国農業協同組合連合会 酪農部長
鈴木 宣弘	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
矢坂 雅充	東京大学大学院経済学研究科 准教授
小林 信一	日本大学生物資源科学部 教授

第8期 企業倫理委員会・専門部会委員一覧

2017年4月1日現在

社外委員	阿南 久	元消費者庁長官	企業倫理委員会委員長 雪印メグミルク(株) 社外取締役
	森田 満樹	消費生活コンサルタント	消費者関連の有識者
	河口 洋徳	経営倫理実践研究センター 専務理事	企業倫理の有識者
	小林 俊夫	弁護士 長島・大野・常松法律事務所 顧問	法律の有識者
	佐藤 邦裕	日本食品衛生協会 技術参与	品質の有識者
	塚原 典子	帝京平成大学 健康メディカル学部 教授	栄養学の有識者
労働組合	吉田 尊志	労働組合中央執行委員長	労働組合の代表者
社内委員	石田 隆廣	代表取締役副社長	経営全般社長補佐 総務・秘書室・人事 担当
	土岡 英明	取締役専務執行役員	家庭用事業掌管、広域 営業・広報・CSR担当
	城端 克行	取締役常務執行役員	生産・生産技術担当

[品質部会委員]

社外委員	佐藤 邦裕	日本食品衛生協会 技術参与	品質部会長 企業倫理委員会委員 兼任
	森田 満樹	消費生活コンサルタント	企業倫理委員会および 表示部会委員兼任
	中村 優	品質安全推進共同センター (JASMEQ)顧問	衛生管理の有識者 品質部会委員専任
社内委員	田中 宏治	品質保証部長	品質部会委員専任

[消費者部会委員]

社外委員	阿南 久	元消費者庁長官	消費者部会長 企業倫理委員会委員長 兼任
社内委員	土岡 英明	取締役専務執行役員	企業倫理委員会委員 兼任

[表示部会委員]

社外委員	森田 満樹	消費生活コンサルタント	表示部会長 企業倫理委員会および 品質部会委員兼任
	松崎 政夫	元日本生活協同組合連合会 商品政策・安全管理担当	商品表示の有識者 表示部会委員専任
社内委員	小西 寛昭	取締役常務執行役員 研究開発・商品開発・ミルクサ イエンス研究所・品質保証担当	表示部会委員専任
	足立 晋	CSR部長	表示部会委員専任

企業倫理委員会消費者部会に 参加いただいている主な団体一覧

50音順

関東	関西
・主婦連合会	・NPO法人 京都消費生活有資格者の会
・全国消費者団体連絡会	・NPO法人 コンシューマーズ京都(京都消団連)
・全国消費生活相談員協会	・関西消費者協会
・東京消費者団体連絡センター	・全大阪消費者団体連絡会
・日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会	・なにわの消費者団体連絡会
・日本生活協同組合連合会	・奈良県生活協同組合連合会
・横浜市消費者団体連絡会	・日本消費経済新聞社
	・日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会 西日本支部

雪印メグミルク株式会社 行動計画

雪印メグミルクは、「人材の多様性の確保と能力を発揮するための環境づくり」に取り組んでいます。女性活躍をその中核と位置付け、以下を掲げて具体的な行動を推進していきます。

- ・[女性活躍]を企業戦略として推進します。
- ・女性社員が主体的に行動し、影響力を発揮できる会社に変えていきます。
- ・長時間労働を是正し、ワーク・ライフ・バランスを実現できる環境を整えます。

計画期間:2016年4月1日～2021年3月31日までの5年間

当社の課題

採用時の女性比率については一定の水準に達しており、継続勤務年数についても男女に大きな差は見られないが、女性のキャリアアップが進んでおらず、管理職に占める女性割合が低い。

背景として、管理職を目指す女性社員が少なく、かつ女性管理職・管理職候補の育成が十分でない。またそれらを支援する制度・環境が整っていないことが挙げられる。

目標

10年後の女性経営職(管理職)比率10%のステップとして、2021年3月31日時点での女性経営職(管理職)比率を現行の2倍以上(5%)にする。
(2015年4月現在 2.2%)

取り組み内容と実施時期

取り組み1:仕事と家庭の両立を支援

【2015年度からの継続施策】

- ・産前・産後休業や育児休業中の社員に対する復帰支援プログラムの提供
- ・短時間勤務制度の対応

【2016年度以降の新規施策】

- ・2016年4月～ 長時間残業の削減および職場における業務削減の取組
- ・2016年10月～ 人事諸制度の見直し(有給休暇の行使単位の見直し、ジョブ・プリアン制度の拡充、子育て支援休暇の対象範囲の拡大 ほか)
- ・2017年4月～ 男性社員の育児参画に向けた取組み

取り組み2:計画的な人材の育成

【2015年度からの継続施策】

- ・女性社員が自身のキャリア形成に対する意識を醸成するための研修の実施

【2016年度以降の新規施策】

- ・2016年10月～ 管理職手前の女性社員を対象としたキャリア意識の醸成とスキル習得を目的とした研修の実施

取り組み3:女性活躍推進に対する意識の醸成

【2015年度からの継続施策】

- ・所属長を対象とした女性活躍推進やワーク・ライフ・バランス等に関する意識啓発のためのセミナー開催

- ・社内イントラネットや社内報を通じた女性活躍推進やワーク・ライフ・バランス等に関する情報発信

【2016年度以降の新規施策】

2016年5月～ 女性活躍推進やワーク・ライフ・バランス等に対する意識調査の実施

2016年7月～ 管理職、女性社員を対象とした女性活躍推進やワーク・ライフ・バランス等に関する意識啓発のためのセミナー開催

	2015年度	2016年度	範囲
社員数(連結)	4,823名	4,887名	連結会社計
社員数(単体)	3,005名	3,033名	
男性	2,580名	2,607名	雪印メグミルク(株)
女性	425名	426名	
女性管理職	16名	17名	雪印メグミルク(株)
女性管理職比率	2.50%	2.62%	(出向者を含む)
平均年齢	39.3歳	39.7歳	雪印メグミルク(株)
平均勤続年数	13.0年	13.7年	雪印メグミルク(株)
障がい者雇用率	1.92%	1.84%	雪印メグミルク(株)
育児休暇利用者	30名	48名	
うち男性	14名	19名	
子育て支援休暇利用者	44名 (延べ127日)	49名 (延べ152日)	雪印メグミルク(株)
看護休暇制度利用者	97名 (延べ468日)	110名 (延べ491日)	(出向者を含む)
短時間勤務制度利用者	35名	37名	制度利用者数

内容	2014年度		2015年度		2016年度	
	社内	社外	社内	社外	社内	社外
人間関係について	2	1	1	1	0	0
品質について	0	1	0	0	0	0
風土改革について	0	0	0	0	0	0
コンプライアンスについて	3	0	2	0	2	0
職場での問題行動について	18	1	16	2	21	5
社内制度や仕組みへの疑問	11	1	3	0	3	1
その他	4	0	1	0	0	0
合計	38	4	23	3	26	6

社内：雪印メグホットライン[グループ社内通報相談窓口]

社外：社外(弁護士)ホットライン[社外通報相談窓口]

ISO26000対照表

2010年11月に発行された、CSRに関する国際規格であるISO26000「社会的責任に関する手引き」に掲げられている7つの中核主題ごとに、「CSR活動報告書2017」に掲載している取組み内容を整理しました。

7つの中核主題	取組み内容	
1.組織統治	雪印メグミルクグループ 企業理念とCSR 経営	P.01
	トップメッセージ	P.03
	雪印メグミルクグループ長期ビジョン2026・中期経営計画2019	P.07
	コーポレート・ガバナンス	P.50
	コーポレート・ガバナンス体制	P.51
2.人権 3.労働慣行	CSR推進体制および危機管理体制	P.52
	企業倫理委員会および専門部会	P.55
	女性活躍推進	P.57
	多様な人材の就労環境の整備	P.58
	労働生産性の向上と業務改革	P.59
	人材育成	P.60
	社内アイデア募集システム	P.60
	内部通報制度「ホットライン」	P.60
4.環境	ハラスメント防止のための啓発	P.35
	環境への取組み	P.36
	環境方針および環境マネジメント体制	P.36
	「ISO14001:2015年版」改正対応	P.37
	環境監査および環境教育	P.39
5.公正な事業慣行	環境保全活動への取組みと支援	P.08
	地球温暖化防止と循環型社会への取組み	P.47
	株主・投資家との対話(IR活動)	P.48
	コーポレート・ガバナンス	P.49
	雪印メグミルクグループ行動規範および行動基準	P.54
6.消費者課題	「食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動」	P.22
	CSRグループ活動および宣誓書の提出	P.23
	法令チェック体制	P.24
	品質保証システム「MSQS」	P.24
	食育活動	P.25
	工場見学	P.26
	お客様モニター制度	P.26
	お客様センター	P.32
	お客様満足向上ミーティング	P.33
	事業活動と連動した寄付活動	P.41
7.コミュニティへの参画 およびコミュニティの 発展	乳(ミルク)にこだわる	P.43
	研究開発体制と主な機能性研究	P.44
	ミルクの機能性研究と商品開発	P.45
	社会の皆様とともに	P.46
	北海道地域での活動および地域の方々とのふれあい	P.28
	スポーツ貢献	P.29
	復興支援と災害対策	P.29
	文化振興の活動	P.30
	知識・技術の社会還元	P.28
	酪農生産への貢献	P.29
	雪印種苗(株)(ゆきたねネット、トータルサポート室)	P.30
	株式会社TACSしべちゃ	P.30
	グループ一体での酪農貢献の取組み	P.30

雪印メグミルクグループ グループ会社紹介

グループ各社でもCSRリーダーを中心にCSR活動を推進しています。

雪印種苗(株)

設立	1950年12月
資本金	4,643百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	北海道札幌市
代表者	赤石 真人
事業内容	種苗・農畜産物の生産および販売、飼料の製造および販売、造園事業、種苗の品種改良および試験研究



人事総務部
総務課長
山崎 伸明

すべての行動規範である「雪印種苗行動基準」に従業員一人ひとりへ浸透・定着させ、CSRの3つの側面(経済・環境・社会)においてバランス良く活動していきます。

ハケ岳乳業(株)

設立	1954年1月
資本金	60百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	長野県茅野市
代表者	秋元 毅一郎
事業内容	牛乳・乳飲料・発酵乳の製造および仕入販売、チーズの加工、運送取扱業

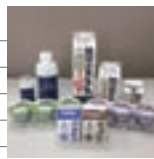


経営管理部
担当部長
小口 横

1954年創業以来、「安全・安心」をモットーに努力研鑽を積み重ねてきました。「ハケ岳の自然を、そのままご家庭へ」。ハケ岳乳業はよりよい食文化の創造を目指していきます。

いばらく乳業(株)

設立	1959年1月
資本金	117百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	茨城県水戸市
代表者	川崎 浩
事業内容	牛乳、乳飲料、清涼飲料、発酵乳、デザートなどの製造販売



営業部 課長
高木 将樹

一人ひとりが企業行動憲章を理解し、企業市民としての責任を自覚することに努め、企業活動を通じて「いばらく」に集う人々の調和・つながりを深め、社会から信頼され続ける会社を目指してまいります。

チェスコ(株)

設立	1957年3月
資本金	472百万円
グループ計持株比率	96.6%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	本村 直之
事業内容	ナチュラルチーズ、食料品、酒類、雑貨の輸入および製造・加工販売

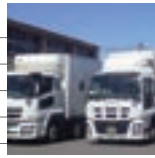


管理本部長
太田 昭彦

世界からのおいしいチーズをお届けし、食卓を豊かにすることが私たちチェスコの使命です。厳選したナチュラルチーズを取り揃え、全国のショップで皆様のお越しをお待ちしております。

直販配送(株)

設立	1980年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	70.0%
本社所在地	東京都渋谷区
代表者	田邊 良一
事業内容	共同配送センター運営事業、チルド商品配送事業、一般貨物運送事業



CSR推進部長
前川 和男

人手不足、高齢化、長時間労働、エネルギー環境対策等々、様々な課題への取組み、企業の社会的責任の重要性を一人ひとりに浸透するように弁護士による研修、事例検討、情報発信ツール作成など積極的に取り組みます。

(株) クレスコ

設立	1948年8月
資本金	38百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都北区
代表者	町田 幸司
事業内容	食品包装資材、アイスクーンの仕入販売



取締役
田中 高士

長年培ってきた食品包装資材の開発・製造の知識とノウハウをベースに、包装資材全般の取扱いを行っている総合パッケージカンパニーです。経済や環境に配慮した包装資材の提案を行い社会に貢献していきます。

(株) エスアイシステム

設立	1997年1月
資本金	400百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	齋藤 孝宣
事業内容	チルド・フロースンを中心としたベンダー、商品販売事業と共配センター運営事業



経営企画本部
人事・総務部
人事総務課 課長
内田 健児

創立20周年を迎え初心に回歸し、従業員一人ひとりに「エスアイシステム行動基準」を正確に理解し、実行できる内容の社内報を発信、CSRアンケート結果を重視した研修を実施・推進・継続してまいります。

雪印オーストラリア(有)

設立	1992年12月
資本金	21百万A\$
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	メルボルン(オーストラリア)
代表者	福田 忠己
事業内容	育児用粉ミルクおよび白カビ系チーズの製造販売、乳原料の輸出入



管理部長
来栖 淳

安全・安心な粉ミルクや白カビ系チーズなどの商品をアジアおよび豪州国内にお届けすることにより社会に貢献してまいります。また、チャリティへの参加など地域社会への貢献にも積極的に取り組んでおります。

みちのくミルク(株)

設立	1996年10月
資本金	466百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	宮城県大崎市
代表者	小原 勝義
事業内容	牛乳、乳飲料、清涼飲料、発酵乳、デザートなどの製造販売



取締役 総務部長
庄子 慶之

工場見学でどのように牛乳が製造されているかを来て、見て、飲んで、楽しく学べます。また、地元の食の祭典「おおさき食楽まつり」での牛乳の試飲会や工場前国道の花壇花植えなど地域行事にも積極的に参加しています。

三和流通産業(株)

設立	1954年1月
資本金	450百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	埼玉県さいたま市
代表者	竹島 昭一
事業内容	日配チルド食品などの卸売事業、共配センター事業



取締役 管理本部長
永田 敏広

CSR経営をベースとしてチルド食品に特化した事業経営を展開し、おいしさと健康をお客様の心に最高の鮮度でお届けします。

ニチラク機械(株)

設立	1954年4月
資本金	50百万円
グループ計持株比率	67.6%
本社所在地	埼玉県さいたま市
代表者	原田 勉
事業内容	食品製造を主体としたプラントおよび機械の設計、製造、施工、販売、修理およびメンテナンス



総務部長
斉藤 宏司

「酪農・乳業への貢献」を目的として、6次産業化を目指す酪農家にチーズをはじめとする乳製品の製造技術・機器を提供しているエンジニアリング会社です。

(株)ロイヤルファーム

設立	2001年2月
資本金	10百万円
グループ計持株比率	48.5%
本社所在地	青森県十和田市
代表者	西根 俊政
事業内容	肉用牛の生産・販売



取締役 業務部長
兼指導部長
西井 信

子会社の直営3牧場と預託農家で7,300頭の肥育牛を飼養。食品として牛を取り扱い、「安全・安心のおいしい牛肉」となるよう目指して取り組んでいます。

雪印ビーンスターク(株)

設立	2002年8月
資本金	500百万円
グループ計持株比率	80.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	平田 公孝
事業内容	育児用品事業、ライフケア事業、機能性食品事業、受託・余乳事業



取締役(経営管理部・コンプライアンス担当)
玉本 裕一

当社では、赤ちゃんとお母様の健康をサポートするため、ビーンスタークマム商品の売上の一部を「公益財団法人日母おぎやー献金基金」「認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)」に寄付しています。

グリーンサービス(株)

設立	1980年11月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	70.0%
本社所在地	東京都調布市
代表者	菅原 尚則
事業内容	CVS・スーパーマーケットのチルドセンター受託、全農殺菌乳の輸送、雪印メグミルクの受注センターおよび入出庫業務の受託他



業務課長
辰野 鉄弥

当社は事業の特性からアルバイトの比率が70%を超えております。その中で雪印メグミルクの指導の下、各場所で毎月テーマを決めCSR会議を行っており、その結果を全員に周知できるよう、活動をしております。

(株)雪印こどもの国牧場

設立	1965年8月
資本金	10百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	神奈川県横浜市
代表者	手島 隆二
事業内容	牛乳の製造、牧場・動物園・食堂・売店の経営



総務企画部長
山口 雅也

当牧場では、「酪農教育ファーム認証牧場」として「ふれあい牧場学校」の開催、実習などの受け入れ、乳搾り体験やバター・チーズ作り教室の定期的開催などを行うとともに、牛以外の動物とのふれあいも大切にしています。

台湾雪印(株)

設立	1992年12月
資本金	7百万NT\$
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	台北(台湾)
代表者	小原 康嗣
事業内容	育児用粉乳、乳製品などの輸入・販売



営業部 南部営業主任
郭 志清

台湾雪印では、台湾国内の児童福祉施設などへ粉ミルクなどの寄付を届けることにより、積極的に社会貢献活動を推進しています。社会全体に貢献する一員であり続けたいと思っています。

(株)雪印パーラー

設立	1961年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	北海道札幌市
代表者	小山内 薫
事業内容	食堂・売店経営、乳製品などの販売



管理部長
首藤 俊昭

2017年4月に本店を札幌時計台近くに移転いたしました。移転を機にこれまで以上に安全・安心なおいしいメニューをご提供することで酪農・乳業への貢献度を高めるべく取り組んでいます。

甲南油脂(株)

設立	1992年7月
資本金	100百万円
グループ計持株比率	51.0%
本社所在地	兵庫県神戸市
代表者	遠藤 悟
事業内容	マーガリン類、ショートニング、ラード、チーズ、バターなどの製造販売



総務部 総務部長
川畑 誠一郎

商品の生産を通じて、お客様や取引先から信頼され、必要とされる会社を目指しております。2017年下期のFSSC22000認証取得に向けて、従業員一丸となって取り組んでいます。

(株)YBS

設立	1971年4月
資本金	30百万円
グループ計持株比率	100.0%
本社所在地	東京都新宿区
代表者	國本 温史
事業内容	ビル総合管理、警備業、建築業務、損害保険代理業、人材派遣、営業・管理・生産品質などの各種ビジネスサポート業務

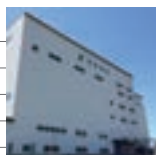


常務取締役
坂口 高司

2016年度はCSRアンケートの結果を踏まえ、職場のコミュニケーションを基本として活動しました。2017年度は各職場でCSR勉強会を開催して活動を推進します。

道東飼料(株)

設立	2001年7月
資本金	300百万円
グループ計持株比率	60.0%
本社所在地	北海道釧路市
代表者	大久保 修市
事業内容	配合飼料の製造・販売



管理部 管理課長
門戸 吉照

安心・安全・高品質な配合飼料の生産と供給を通じて酪農・畜産の発展を支援し、地域社会に貢献します。また、地域清掃活動への参加や「道東飼料行動基準」読み合わせなどの活動を通じてCSR活動を推進しています。

ステークホルダーメッセージ

徹底した消費者重視と社外の目の活用は 他社の模範、今後は社会課題の解決への 積極的関与を期待



サステナビリティ消費者会議 代表

古谷 由紀子 様

2004年～2012年まで企業倫理委員会のメンバーとして、2012年以降は消費者部会への参加を通して貴グループのさまざまな取組みに関わってきました。そこで感じる印象は、徹底した消費者重視と社外の目を活用したガバナンスです。毎年変わらず過去の不祥事を活動報告書に掲載し、内部通報件数や苦情検査件数を公表する姿勢にそれらが表れています。また取締役会の諮問機関としての企業倫理委員会を軸に品質部会、消費者部会、表示部会などに積極的に社外の目を取り入れた継続したコミュニケーションの実践も同様であり、他社の模範となっています。

しかし、世界を、日本を見渡せば、2015年策定のパリ協定やSDGs（持続可能な開発目標）などで示された課題が山積み、企業にも積極的な関与が求められるようになっていきます。貴グループは持続可能性に関わる数多くの基本的な取組みはなされていますが、現在多くの市民組織が問題視する、パーム油などの資源問題、異物混入などに対する消費者の過剰反応の問題、そして食糧や環境に関わる食品ロスなどをはじめとする複雑で解決困難な問題などにもっと積極的に関与してもいいのではないのでしょうか。これまでの徹底したコンプライアンスの実践における貴グループの強みを生かすならば、これらの問題解決に他社や市民組織とともに協働して取り組むことは可能と考えます。さらなる持続可能性への貢献を期待しています。

酪農・乳業一体となった取組みで 生産基盤回復へ、企業理念に沿った 大胆な事業展開を



中国生乳販売農業協同組合連合会
代表理事会長

東山 基 様

2017年度のスタートは例年の如く桜の花だよりから始まりましたが、気持ちの上で少し華やかに感じたのは私だけでは無いと思います。言うまでもなく2016年度は酪農関係者にとって暗雲渦巻く重苦しい一年でありました。熊本地震や東北・北海道を次々と襲った台風や豪雨から鳥取地震まで多くの酪農関係者が被災され、復興まなならぬ中、ことのほか雪の多かった冬を過ごされた同朋の皆さんの辛苦に思い至る事が一つ。又、多くの先人が営々と築いて来た“指定団体制度”を廃止にまで追い込もうとする論議に、私たちにとって重苦しく沈痛な面持ちのまま一年が経過した事からかもしれません。今、それらの論点が整理され課題は政省令の策定作業へと移行され、指定団体及び会員組織の役割に沿った組織改革に

取り組み、乳業関係者の皆様と一体となったより強固な求心力の構築に係る事となりました。私たち生産者組織としましては御社が乳業関係者のリーダーとして持てる力をいかに発揮して頂きたいとお願い致します。

酪農・乳業一体となった取り組みは必ずや新たな生産基盤回復への原動力としての息吹きとなる事と信じております。

中国生乳販連の地域内に雪印メグミルクの工場は在りません。おのずと関西の工場との関わりとなりますが、御社が育んでこられました“酪青研”の活動は活発に続けられ若い酪農家達の成長源であります。又、長年培われて来た「PHCF CO-OP牛乳」は生活協同組合の会員皆様と生産者や関係者の絆の架け橋であり、理解醸成活動意識の高揚に欠かせない大きな役割を担っています。

様々な御社の取り組みに心より感謝申し上げますと共に、地球規模で混沌とする酪農産業情勢の中で、御社の企業理念に沿った大胆な事業展開をご期待申し上げます。

多様な人材の確保、ダイバーシティ推進で、 幸せな社員、会社、社会の好循環づくりへ



一般社団法人経営倫理実践研究センター
主任 研究員
株式会社 ウェルネス・システム 研究所
代表取締役

村松 邦子 様

CSRの本質を追求し、様々なステークホルダーの要請に的確に応えながら事業活動を行うためには、社員一人ひとりが、企業理念を「自分ごと」として考え、主体的に行動していくことが必要です。雪印メグミルクグループでは、2000年、2002年に起きた事件を風化させることなく、「食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動」、職場単位での「CSRグループ活動」など、全従業員参加による活動を13年間にわたり継続しています。このような予防倫理活動は、2つの事件を経験していない従業員が半数以上となった今、社会から信頼される企業

であり続けるために、ますます重要となってくるでしょう。

一方、長期にわたる予防倫理活動は、マンネリ化をまねいたり、思考停止状態に陥りがちです。予防と同時に、社員がいきいきと個性や能力を発揮できるよう「雪印メグミルク バリュー」の3つの価値観、「主体性」「チャレンジ」「チームワーク」を軸とした職場環境づくり、志向倫理の実践にも注力していただきたいと思います。多様な人材の確保により、多様な視点を経営に活かすことは、イノベーションを生み出すとともに、リスクマネジメントにもプラスに働きます。

「女性活躍推進」「多様な働き方」を核としたダイバーシティ推進を着実に進め、幸せな社員、会社、社会の好循環づくりに貢献されることを期待しています。

本業を通じたCSR活動で社会の持続的 発展に貢献します



雪印メグミルク株式会社
取締役専務執行役員 CSR担当

土岡 英明

雪印メグミルクグループは2011年の合併発足後、「コンプライアンスを基本とした品質保証の徹底」を最重要項目とするCSR方針を掲げ、取り組んでまいりました。

2017年より「雪印メグミルク グループ長期ビジョン 2026」がスタートしています。

CSR方針にある考え方を基盤に置きながら、今後は雪印メグミルクグループが、

本業を通じて解決すべき社会の課題は何か、社会が持続的発展を遂げていくために何をしていけばよいのかについて、これまでの取り組みも振り返りながら考えていきたいと思っています。

今回の「CSR活動報告書2017」にいただいたご意見を充分に参考に、企業理念実現のため雪印メグミルクグループ一体となってCSR活動のさらなる推進に取り組んでまいります。

雪印メグミルクグループ「CSR活動報告書2017」への ご意見・ご感想をお聞かせください。

雪印メグミルクグループの「CSR活動報告書2017」をご覧ください、ありがとうございました。本報告書についてのご意見・ご感想などをお聞かせください。お手数ですが、アンケート用紙にご記入の上、お送りいただきますようお願い申し上げます。

本報告書の冊子をご希望の方は、下記へご連絡願います。

● 雪印メグミルク お客様センター

0120-301-369 (9:00～19:00 年中無休)

雪印メグミルク ホームページにも、本報告書を公開しております。

● CSRの取組み > CSR活動報告書

<http://www.meg-snow.com/csr/report/>



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク



雪印メグミルクグループは「森の町内会」の活動に賛同しており、この報告書には適切に管理された森林から生まれた「FSC®認証紙」を使用し、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立っています。また、有害なVOC（揮発性有機化合物）成分が含まれていない植物油インキを使用し、印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷」で印刷しています。文字は、読みやすさに配慮した書体「UD（ユニバーサルデザイン）フォント」を使用しています。

2017年6月発行